

# 公認審判員の会報誌 17

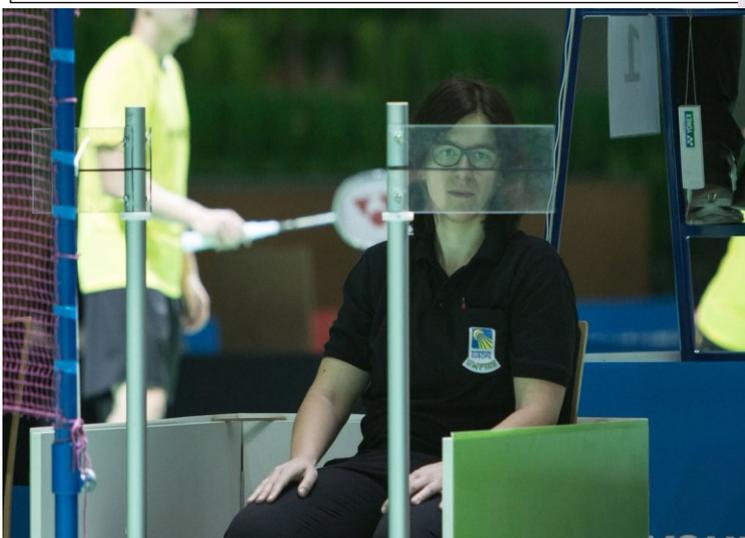
文責 小藏 力



**2024-2025 年度の競技規則書（赤本）、2024 年度ルール教本（緑本）が発売されています。**

競技規則書 880 円、ルール教本 660 円で販売しています。購入希望者は、できるだけ早く下記にご連絡ください。

090-9523-5012（小藏）まで



**今年度で、大きく変わったのは？**

昨年まで、サービスジャッジは、基本的にはサービスフォルトの判定と、明らかな主審の間違えなどに対してアドバイスするだけでしたが、今回はさらに深く主審の明らかな間違えや主審へのアドバイス、主審が見えなかった、SJ 側などの判定など、主審にアピールできるようになりました。つまり、**SJ の副審化**です。

**でも、最終の判断はあくまで主審です。**

## 背面表示の書体の変更について

ウェアの背面の表示について、水平文字である。横 30 cm 以内、高さ 6~10 cm まで、明瞭な文字で、背番号の表示の規制については、変わらないが今回その文字の書体について言及しています。いままでは書体について言及はありませんでした。今年度から**楷書体、明朝体、ゴシック体、アルファベット**を使う場合は**大文字のみ、数字は算用数字**を使う事となっています。**(アルファベット表記は大文字のみは白紙になりました。)**

また、上衣や下衣の広告の数や新たにその場所や数まで規制がありますので、また 1 種大会の審判員の配置や資格条件など、細かいことは新年度の競技規則書やルール教本を読んで参考にしてください。





ネット中央を挟んでの

トス方式での、昭和スタイルは×、

これからは令和のスタイル○

国際大会では、おなじみの片方のサイドでトスをするスタイル。いくつかの国内大会では、すでに行われていましたが、シングルスサイドラインとショートサーブラインが交差しているところで主審が立ち選手と握手しトス。その後に、コートを選んだ場合の移動はトス後に行います。練習時間の計測は主審席に着席してからですので、その方が早速に計れます。主審席に戻るときは2、3歩バックステップでお尻を向けないですぐに席に座りましょう。

## 練習時間の概念の変更。(時短)

以前は、トス後の練習時間は3分間が主流でしたが、最近では2分間が主流になってきてます。BWFは時間短縮するために練習時間2分間にし、2分間を使って練習をするのではなく、この**2分間の終了時には「プレー」とコール**できるようにする事となりました。最低でも残り20秒ぐらいで練習をやめさせる



インターバル以外のマッチ中の「**ワンスプレー**」が**11月からBWFでは廃止**。日本でも来年度廃止予定かなあ？

プレーヤーが、心疾患などで倒れこんだ場合は、主審はすぐにドクターなど医療スタッフを呼ぶ、その時は主審席から離席しても良い。(人命優先)

デコピンサービスは来年の4月30日まで禁止となります。



来年の1月には、高校選抜南北海道予選と来年度には、高体連北海道予選会が苫小牧で行われます。大会運営のお手伝いよろしくお願いします。

